

府中市

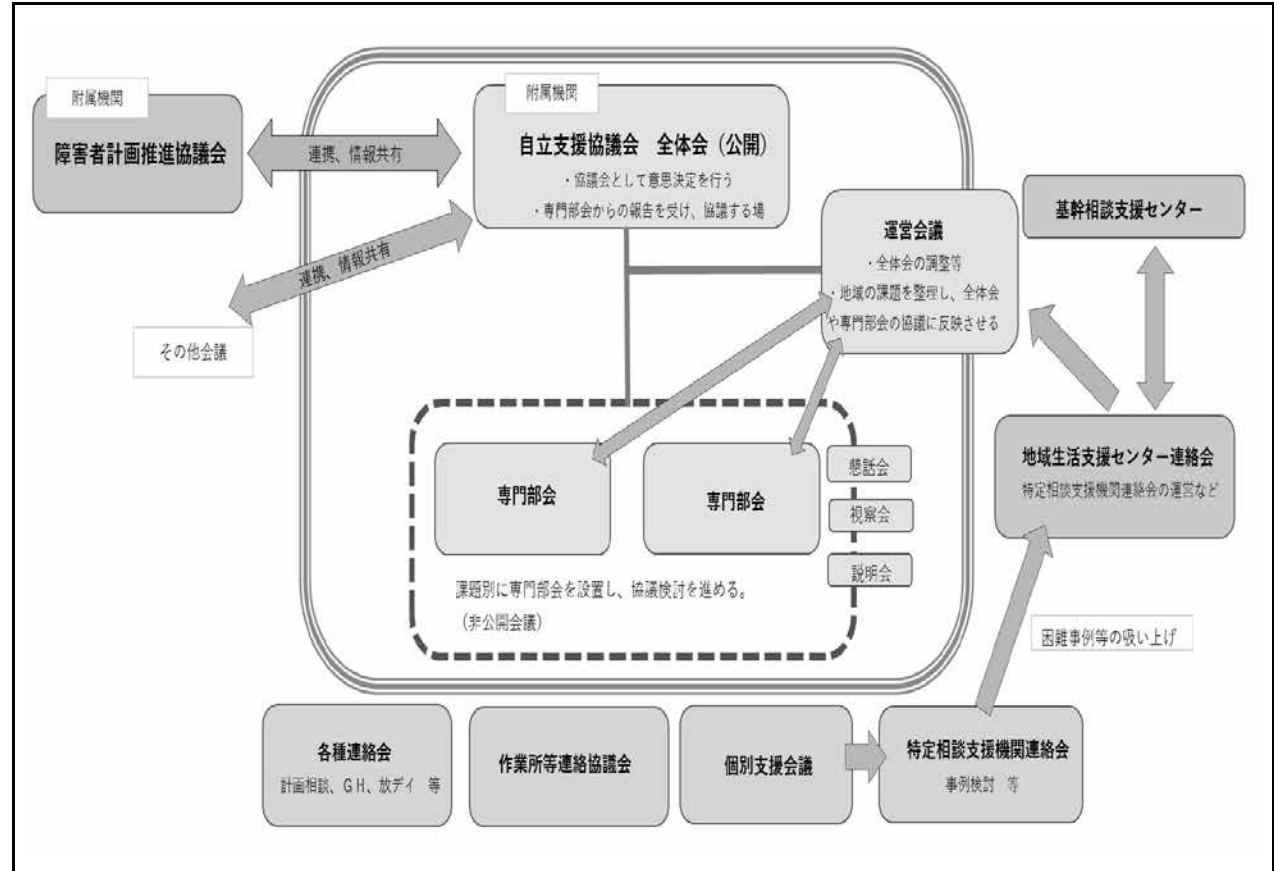
1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 府中市障害者等地域自立支援協議会

(2) ホームページURL

<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/gvosei/kekaku/kyogikai/kenko/jiritusien/index.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）	専門部会等	集合形式
-----	-----------------------------	-------	------

イ 開催時間

全体会	平日日中（業務時間内）	専門部会等	平日日中（業務時間内）
-----	-------------	-------	-------------

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	山口 真佐子	桜美林大学	学識経験者		3
2	部会長	長崎 昌尚	地域生活支援センターみ～な	相談支援事業者		2
3	副会長	中川 さゆり	地域生活支援センタープラザ	相談支援事業者		1
4	副部会長	高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの	相談支援事業者		8
5		原 郷史	地域生活支援センターふらっと	相談支援事業者		7
6		麻生 千恵美	デイケアステーションカルテット	障害福祉サービス等事業者		3
7		藤田 亜弥	ケアチーム大芽	障害福祉サービス等事業者		1
8		松林 宏	J P S 訪問介護ステーション	障害福祉サービス等事業者		5

No.	役職	氏 名	所 属	種 別	備考	経験年数
9		瀬川 彩奈	障害者支援施設みずき	障害福祉サービス等事業者		1
10		栴島 剛之	障害当事者	障害当事者（ピアサポーター含む）		9
11		中村 弘子	障害当事者	障害当事者（ピアサポーター含む）		1
12		高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会	家族・関係団体		3
13		西浦 智恵	知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員		3
14		荒畑 正子	府中市精神障害者を守る家族会	家族・関係団体		3
15		田中 研二	府中市社会福祉協議会	社会福祉協議会		4
16		清水 孝子	東京都立府中療育センター	医療関係者		3
17		中村 嘉人	東京都立けやきの森学園	教育関係機関		1
18		原 綾子	多摩府中保健所	保健所		2

(2) 委員構成

種 別 \ 全体会・部会名	全体会	相談・くらしの部会	地域移行部会
学識経験者	1		1
医療関係者	1		1
保健所	1		1
教育関係機関	1	1	
雇用関係機関	0		
企業	0		
障害当事者（ピアサポーター含む）	2	2	
家族・関係団体	2	1	1
身体・知的障害者相談員	1		1
相談支援事業者	4	2	2
障害福祉サービス等事業者	4	2	2
社会福祉協議会	1	1	
法曹関係者	0		
民生委員・児童委員	0		
地域住民	0		
行政職員（区市町村）	0		
行政職員（都）	0		
その他	0		
計	18	9	9

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

施設入所者・長期入院者にアンケート調査を実施し、当事者の実態やニーズ把握を行った。また、地域移行関係者（支援者対象）の座談会を実施し、制度上の課題や地域課題の抽出を行った。

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること。

運営会議にて、相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等から地域課題を抽出した。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

重度心身障害者の親亡き後も見据えた住まいの確保について、先進自治体の取組を調査研究した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

重度心身障害者に向けてアンケートを実施し、地域生活支援拠点等の趣旨である「地域生活における安心の確保」を図るための方策を検討した。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

運営会議にて、各専門部会の進捗状況を共有した。また、当事者の声を反映するための懇話会の実施方法等について検討した。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

各委員や関係機関で抱える課題等について意見交換や情報共有を行った。

⑤ 地域課題の整理

相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等を通じて、運営会議に地域課題が集約する体制となっている。

⑥ 課題解決に向けての検討

各課題について、市民への支援の充実を目指し、方策を検討した。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

運営会議にて、相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等から地域課題を抽出した。

③ 個別支援会議で上がった案件から検討が必要なものを取り上げている

運営会議にて、相談支援専門員が行う個別支援会議や特定相談支援（障害児相談支援）機関連絡会で行う事例検討等から地域課題を抽出した。

④ アンケート・ヒアリング等で把握した案件から取り上げている

市内の関係機関や福祉関連団体等を招いた懇話会を実施することで、委員だけでなく当事者の声を広く聞く機会を設けている。また、専門部会においてアンケートを実施し、ニーズの把握を行った。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援専門員の質の向上の必要性を感じているが、具体的な取り組みについての検討に至っていない。

② 社会資源の開発及び改善

重度心身障害者の住居について、先進自治体の取組等を調査研究した。

④ 高齢福祉分野との連携

地域課題を抽出する中で、本人支援だけでなく家族等への支援の重要性が確認され、高齢福祉分野との連携の必要性を感じているが、具体的な取り組みについての検討に至っていない。

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

地域課題を抽出する中で、精神障害者に対応できるヘルパーの必要性が確認されたが、具体的な取組についての検討に至っていない。

⑪ 地域移行・地域定着支援

施設入所者・長期入院者にアンケート調査を実施し、当事者の実態やニーズ把握を行った。また、地域移行関係者（支援者対象）の座談会を実施し、制度上の課題や地域課題の抽出を行った。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

① 相談支援の質及び量

相談支援の向上は、本市だけでなく都内全域で対応すべきである。

② 社会資源の開発及び改善

社会資源の不足は、市内だけでなく都内全域における課題であると認識している。

⑤ 福祉人材(マンパワー)の確保

本市だけが抱える課題ではなく、広域で対応すべきである。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	ある程度活性化した。	専門部会等	ある程度活性化した。
-----	------------	-------	------------

イ 活性化したと評価する理由

・委員の改選、運営会議・部会の再編など、組織を更新した。

(2) ICTの活用

・全体会において集合形式とオンライン形式のハイブリット型で開催している。